

2025 年 3 月 25 日

株式会社ダイトコーポレーション

横浜市港湾局政策調整課

株式会社みずほ銀行

DNV ビジネス・アシュアランス・ジャパン株式会社

「横浜港CNPサステナブルファイナンス・フレームワーク」

に基づく株式会社みずほ銀行とのグリーンローン契約締結について

～本邦初の自治体策定のフレームワークを活用した電動タグボートを資金使途とするグリーンローン～

株式会社ダイトコーポレーション（代表取締役社長：浅野 敦男）は、2024 年 11 月 8 日に建造を決定した、2027 年 5 月竣工予定の電動タグボート（E V タグ）の建造資金として横浜市（市長：山中 竹春）が策定した「横浜港CNPサステナブルファイナンス・フレームワーク」（以下、「本フレームワーク」※1）を活用し、株式会社みずほ銀行（取締役頭取：加藤 勝彦）との間でグリーンローンに関する融資契約を締結しました。

本フレームワークは横浜市が策定した港湾脱炭素化推進に向けた第三者利用のための資金使途特定型フレームワークとなります。民間企業等が「横浜港港湾脱炭素化推進計画」に「港湾脱炭素化促進事業」として位置付けた取り組みであれば、自社でフレームワークを策定せずにサステナブルファイナンスにアクセスが可能になる仕組みであり、第三者評価機関であるDNV ビジネス・アシュアランス・ジャパン株式会社（以下、「DNV」）からセカンド・パーティー・オピニオン（※2）を取得しています。また、E V タグの建造は本フレームワークにおける「クリーンな輸送」に分類されるグリーンプロジェクトとして「グリーンローン」（※3）の適合書簡（Letter of Conformance ※2）をDNVより取得しました。なお、本フレームワークを活用した資金調達は、当社が第一号となります。また、このような自治体が策定する資金使途特定型のフレームワークを民間企業が活用する事例は本邦初となります。

今回の本船評価にあたっては、船型改良・電気推進化・新しい操船装置等を連携させ、非化石エネルギー転換を図り運航効率を上げる事、また非化石エネルギーとしてリチウムイオンバッテリーを採用することにより、CO<sub>2</sub>排出削減を約60%実現することが高く評価されております。

当社は“K”LINE グループの一員として環境保全に関わる長期指針「“K”LINE 環境ビジョン 2050」におけるグループの環境マネジメントを推進するための体制「DRIVE GREEN NETWORK」の下、経営方針としてGX（Green Transformation）への取り組み強化を掲げ、より一層の地球環境保全・港湾周辺環境改善に取り組んで参ります。（※4）

(※1) 横浜市のウェブサイトをご参照下さい。

<https://www.city.yokohama.lg.jp/city-info/yokohamashi/yokohamako/kkihon/torikumi/cnp/ycnpfw.html>

(※2) DNVのウェブサイトをご参照下さい。

[https://webmagazine.dnv.co.jp/sus\\_finance\\_list.html](https://webmagazine.dnv.co.jp/sus_finance_list.html)

(※3) グリーンローン

「グリーンローン原則」(下記参考をご参照下さい)に準拠し、環境課題の解決・緩和に資する事業の資金を調達するために実行されるローン

(参考) グリーンローン原則

Loan Market Association とアジア太平洋地域業界団体 Asia Pacific Loan Market Association が 2018 年 3 月に策定した環境分野に用途を限定する融資の国際ガイドライン。2018 年 12 月には The Loan Syndications and Trading Association に参画。

(※4) 当社ウェブサイトをご参照下さい。

<https://www.daitocorp.co.jp/blog/environment/2135>

### 電動タグボート概要



【YOKOHAMA EV-TUG 仕様】

|              |                    |
|--------------|--------------------|
| 1) 寸法 (メートル) | 全長33.4/全幅9.6/喫水4.0 |
| 2) 適用規則      | JG                 |
| 3) 総トン数      | 199トン級             |
| 4) 最大速力      | 14ノット              |
| 5) 最大曳航力     | 48トン (前進時)         |
| 5) 推進システム    | 電気推進システム           |
| 6) バッテリー容量   | 約3.2MWh            |



【本件に関するお問い合わせ先】  
経理部 吉田 TEL:03-3452-6274